

マスコミ関係各位

2019年3月29日

『明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケート・プログラム』 初の修了者が誕生しました

2016年度よりスタートした『明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケート・プログラム』。明治学院大学の教育理念“Do for Others”を具現化し、ボランティア実践と大学での学びを深めるため発足した本プログラムの初の修了者が、今年12名誕生しました。

本プログラムは、「所定のボランティア実践」、「指定科目の単位修得」、「インテグレーション講座の受講」により、サティフィケート(修了証)を取得することができるもので、明治学院大学の教育目標の1つである、「共生社会の担い手となる力の育成」を目指しています。学生がプログラムに参加するきっかけはそれぞれですが、活動を通じて、自分に必要な力や足りない力を見つけながら、大学での学びへの目的意識を得ることで、大学での学びを「生きた学び」として、知識や経験を深めていくことができました。修了証取得までの目安は3年で、かつ多くの条件が必要となっており、取得を目指す学生は、大学生生活の長い時間をかけて、この活動と向き合ってきました。

■サティフィケート取得条件(下記3項目すべての条件を満たすことが必要)

①「**所定のボランティア実践**」…本学入学後135時間以上のボランティア活動を行います。ボランティアの種類は多種多様で、東日本大震災の復興支援から地域密着型のもの、海外で活動するもの、そして毎年約700名以上の学生が参加している、「1日社会貢献プログラム「1 Day for Others」」の活動も含まれます。参加学生たちは、主体的に活動の場を選び、経験を積んでいます。

②「**指定科目の単位修得**」…学生が所属する学部学科によって指定された授業を履修し、一定の単位を修得することで、学びと経験を結びつける効果があります。教養科目である「明治学院共通科目」と所属学科の「学科学目」から構成されており、16単位以上の取得が条件となっています。各学生が専門的に学んでいる学問分野とボランティアを結びつけることは、活動する上で大いに役立ちました。

③「**インテグレーション講座の受講**」…ボランティア実践と大学における学びを結びつけるために行われる講義で、プレゼンテーションやディスカッション中心に進行する参加型の講義になっています。教員や参加学生同士でさまざまな意見交換を行いながら、学びを深めていきました。

このような条件を満たし、今年12名の学生がプログラムを修了、3月22日、修了者のうち7名が出席し、白金キャンパスで修了証書授与式が行われました。松原康雄学長からは、「それぞれが多量のボランティア活動に参加したと思いますが、自身だけの経験に留めておくのではなく、周りの環境作りにぜひ役立ててほしい」との式辞がありました。認定を受けた学生は、現在、就職活動中の学生も多く、このプログラムでの活動経験が、自身の振り返りや学生時代の活動報告をする際の自信にもつながっているといいます。本学は今後も多くの在学生在がこのプログラム修了を目指して学びと実践を積み上げてほしいと願っています。

ぜひ、このボランティア・サティフィケート・プログラムや本学の取り組みについて、取材いただきたくお願い申し上げます。



<3月22日に行われた修了証書授与式の様子>

取材のお問合せは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当:圓道・濱口

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <https://www.meijigakuin.ac.jp>